

平成 27 年度 父母説明会

ご 報 告

2 0 1 5



神 奈 川 工 科 大 学

学生支援本部 学生課

～父母説明会に寄せて～



学長 小宮 一三

日頃より本学に種々ご支援いただき感謝申し上げます。

本学は昭和 38 年開校以来、現在 5 学部 13 学科、大学院 6 専攻、学生数約 5,000 人を擁する工科系総合大学に成長しました。これも皆様のご支援の賜と改めて感謝申し上げます。

近年大学を巡る情勢は厳しいものがありますが、本学は、「学生本位主義の神奈川工科大学」の理念を広く宣言し、常に学生を中心に、教育研究環境の充実、学生一人一人の力を伸ばす教育、きめ細かい学生生活支援に全教職員あげて取り組んでおります。

さて、父母懇談会も今年で 18 年目を迎えました。春には、大学関係者が学生の出身地のご父母の皆様のところへお伺いし、大学の現況や方針を説明させていただきました。また、秋には、本学の教育理念や支援体制、前期成績配付後の修学における留意点をご説明し、さらに皆様との個別相談の場を設け、きめ細かい対応させていただいております。

以下に簡単に大学の近況をご説明いたします。

(1) 充実した教育研究環境

平成 16 年度より開始されたキャンパス再開発により、トップレベルの教育研究環境が整いました。また、創立 50 周年記念事業として、新講義棟、新体育館、先進技術研究所の建設、グラウンドの人工芝化が完了し、さらに多目的広場や女子学生寮（仮称）の建設も進んでいます。新しい施設の概要は以下の通りです。

①新講義棟

地上 6 階、地下 1 階で、講義室（31 室）、カフェテリア（650 席）など、最新の教育設備を有しています。

②新体育館（KAIT アリーナ）

地上 3 階、バスケット、バレーなど多様なスポーツが可能です。

③グラウンドの人工芝化

サッカー、ラグビーに対応したグラウンドを人工芝化しました。

④先進技術研究所

有望な基礎研究成果を支援し、実用化につなげることを目的とした研究所です。

⑤看護・医療棟

平成 27 年 4 月開設の看護学部看護学科および工学部臨床工学科の教育研究のための施設です。

⑥女子シェアハウス（仮称）教育研究連携モデル推進棟

平成 28 年 2 月完成を目指し、キャンパスの一部に女子シェアハウスを建設中です。

⑦ 多目的広場

豊かなキャンパスライフのため、学生同士、学生と教員とのコミュニケーション空間の場で、平成 29 年 9 月完成予定です。

(2) 学生の力を伸ばす教育

学生が主体的に学べる以下の教育プログラムを実施しています。

①新教育課程

平成24年度より新教育課程がスタートしました。これは、「考え、行動する人材の育成 — 社会で活躍できる人づくり」を目標に、「何を教えるかより、学生が何を学べたか」を中心とした教育課程です。具体的には、社会人としての基礎力（学士力）、また社会で活躍できる力（就業力および専門力）を身につける全学共通基盤教育、PBL (Project Based Learning) 教育を発展させたユニットプログラム、スーパーサイエンス特別専攻プログラム等を実施しています。

②学部横断プロジェクト

所属する学部学科にとらわれず、興味があればだれでも参加できる新しい形の教育です。現在、環境問題をテーマとした Stop the CO₂ Project、次世代音楽・音響システムプロジェクトが行われています。

③国際交流プログラム

国際センターにより海外留学や留学生受け入れ、海外研修等多様なプログラムが運営されています。

④図書館

トックラスの蔵書を有し、新たに自ら学ぶ場（アクティブラーニング室）を整備しました。

(3) きめ細かい学生支援

人間形成に資するサークル活動、ボランティア活動などの各種支援とともに、学生生活や学習活動について以下の学生支援を行っています。

①資格取得

資格は社会に出てから役立ちます。資格取得を目指す学生に本学では多彩なプログラムを用意し、支援を行っています。

②基礎教育支援センター

授業において理解できなかったこと、高校で習わなかったことを補習できるように、高校教師OBが常駐しています。延べ4,614名（平成25年度）の学生が利用しました。

③学生相談

学生生活の上での悩み事などは教職員に気軽に相談し、学生諸君が安心して学生生活を送れるように体制を整えています。必要があれば専門のスタッフも常駐しています。

(4) 災害対策

東日本大震災より4年半経過しましたが、万が一の震災に備え、以下の対策を実施しております。

①全学避難訓練

大規模地震発生をおよび火災の発生を想定し、去る9月18日（金）に全学生及び教職員を対象とする避難訓練を実施しました。

②緊急連絡網（安否確認システム）

情報連絡の重要性に鑑み、現状の情報配信及び学園生活支援システム（KAIT Walker）に、安否確認システムと災害対策システムを増強いたしました。

以上の他に、本学は教員がそれぞれの専門分野で先端的研究に多くの実績をあげ、国際会

議での発表、産学連携なども活発に行っています。また、神奈川県や厚木市など地域との連携も活発であり、地元企業との共同研究をはじめ、地元を中心とした学生のボランティア活動など、地域から信頼される大学としての地位も確立しています。

最後に、本学は先に申しあげましたように、学生本位主義のもと、常に学生諸君の力を伸ばす教育、安心して学生生活を送れるような支援に教職員一同全力で取り組んでおります。今後とも皆様のご支援、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

～大学の取り組みと支援体制について～

学生生活について ～大学生生活全般の注意点など～

学生課では、学生の皆さんが充実した学生生活を過ごせるよう学生生活全般にわたる支援を行っています。その中でも、安心して安全なキャンパスライフを過ごせるよう、大学生が巻き込まれやすいトラブル等の未然防止に力を注いでいます。

(学生課の主な支援業務)

- 学生生活（食・住・通学・健康）支援
- 奨学金関連
- 障害学生支援
- クラブ・サークル活動支援
- ボランティア活動支援
- アルバイト（地元求人）紹介
- 事件・事故対応相談
- その他

I. 充実・順調な学生生活の実現をサポートする。

1. 学生相談・健康支援

心身ともに健康に学生生活を送れるよう学生相談室、健康管理室がサポートしています。

学生相談室（K2号館・3F）：精神科医1名・カウンセラー（臨床心理士）4名

大学生時代は、社会人になる前の大切な「試行錯誤の時期」であり、学業、友人関係、将来・・・、心が揺れ動く時期でもあります。悩み、相談事は学生相談室で早めの相談が大切です。年間300名前後の学生が利用しており、学年別には1年生・4年生の利用が多くなっています。保護者からの相談も受付けています。

健康管理室（K2号館・1F）

健康管理室では、学校医・看護師による健康相談、病気・けがの応急措置及び医療機関の紹介、定期健康診断・インフルエンザ予防接種実施などを行っています。

充実した学生生活の基本は、規則正しい生活（睡眠時間の確保・食事）の鍵になります。具体的には睡眠時間の確保、三食バランスのとれた食事が大切です。昨今は、全国的に若者の“朝食欠食”が問題となっています。深夜、早朝までネットゲーム等に夢中になり夜更かしをして朝起きられず朝食も摂れないような生活が続くと、授業、特に1限の出席に大きく影響してきます。結果的には学業成績（単位修得・GPA）に悪影響を及ぼすこととなります。

2. クラス担当教員とアドバイザー制度

□ クラス担任制度

高校までの“クラス担任”とは位置付けは異なりますが、学生個人の指導助言に当たる教員として、クラス担当教員（＝クラス担任）配置しています。学業面や進路に関することなどを中心に、学生生活に関する相談ごとは、学生自身が自ら積極的にクラス担任に相談を持ちかけてください。なお、欠席が目立つ学生にはクラス担任（「IR・企画推進室」からファーストコンタクト（メール）が入ります）が連絡を入れます。また、前期成績は学生にはクラス担任から手渡しで配付されます。クラス懇談会もクラス担任が世話役となり開催されます。

□ アドバイザー制度

専門科目や学科に関連相談に応じるため、1年生には「アドバイザー」を置いています。主に専門学科の立場からクラス担任を補佐する目的で配置しています。

II. 安心・安全な学生生活を維持するために学生生活の諸注意

● 狙われる大学生・・・

不正薬物乱用（危険ドラッグ・覚せい剤・大麻など）
割の良いアルバイトを装い知らぬ間に犯罪集団への加担。

※成人した大学生をターゲットにした悪質商法には特に注意してください。

□ 大学生に借金をさせて高額な投資用 DVD を購入させる販売業者・・・本学内でも勧誘される者・勧誘する者間でトラブル発生。

□ 講習会（高額参加費）に参加してノウハウを身につけて、ブログのアフィリエイト広告*で副収入が得られると勧誘。*成功報酬型広告

□ 大学周辺で「就職活動に関するアンケート」と称し個人情報を収集される。高額な就活セミナーや精神修養講座をしつこく勧誘される。

● 本学で生じたその他の事件・トラブル事例

□ 深夜単独帰宅の女子学生が不審者に追われた事件

□ 学内での置き引き被害、自転車盗難（多くが無施錠）被害

□ 飲酒に関するトラブル

□ インターネット（SNS）での不適切行為発信に起因するトラブル

□ インターネット（SNS）での誹謗中傷トラブル

□ 本学学生の自転車運転マナーに起因する自動車運転者とのトラブル（複数件発生）

□ 一人暮らしアパートや指定寮での騒音トラブル（複数件発生）

□ 本学学生が他人契約の月極め駐車場への無断駐車、コンビニ、薬局等駐車場で長時間駐車によるトラブル（複数件発生）

□ 友人間での“借金”に関するトラブル

トラブルは大事に至る前に、早め早めの相談が大切です。学生課内に「困りごと相談所」を本年より開設しました。経験豊富な警察官 OB 職員が、事件、事故、日常発生するさまざまなトラブルに対し、専門的なアドバイスをを行い解決に向けて丁寧に支援しています。

□ 時間（平日）：12：30～16：00 □ 場所：K2 号館 1F

Ⅲ. 学業不振に陥らないために（日常生活面で特に注意して欲しい事）

規則正しい生活（睡眠時間の確保・食事）を維持。

ネットゲームなどに夢中になり昼夜逆転の生活になっていませんか。

適切な範囲でのアルバイトに制限。

アルバイト中心の学生生活になっていませんか。支出を見直し節約で対応し、アルバイトは学業に支障を来たさない範囲で。例えば、通信費（スマートフォン新製品購入費用など含む）、ゲーム課金、パチンコなどの遊興費などの支出増に注意が必要です。

「ブラックバイト」に注意！

*奨学生（奨学金受給者）は、留年（卒業研究未着者を含む）者、成績不振者は奨学金が停止または廃止になり、奨学金が受給できなくなります。

Ⅳ. 保護者の皆様との協働（協同）で自立した大人への成長を支援

「神奈川工科大学後援会」のご案内

後援会は、学生の福利厚生に関する助成、学生の課外活動に関する助成、および大学の教育研究活動の後援等を目的に在学生の全父母により組織されています。

（主な事業）

研究助成：学生が学会で発表した場合に発生する経費の補助

刊行物助成：図書館で閲覧できる主要地方新聞の購読費助成

成績表送付：年2回（9月・3月）学生の成績を保証人に送付

クラブ活動助成：各クラブ活動における年間予算の助成

特別活動助成：夢の実現プロジェクト費用助成、神奈川県央三大学定期対抗戦の助成

卒業祝賀助成：学位記カバー費用、卒業祝賀会主催

教務関係

1. 留年制度について

本学には、留年制度がありますので卒業まで計画的な単位修得が必要となります。2年次修了時点で50単位未満の2年次留年制度は、平成28年4月1日から廃止となり、履修規程の変更が決定されました。廃止に伴い、その対応につきましては現在検討されておりますので、詳細が決定されしだい書面にて通知させていただきます。なお、平成28年3月の進級判定から遡及適用されますので在学生は全員が順送りの進級となります。3年次修了時点で104単位未満（看護学科は、87単位）は、4年次には進級しますが、卒業要件上の必修科目である「卒業研究」（看護学科は、「看護研究」）を履修することができません。したがって、その時点で4年次留年が確定します。また、卒業要件は、4年次修了時点で教育分野ごとの必修、選択科目等の修得条件科目と合計124単位（臨床工学科は、136単位）以上が必要となります。

例年の留年割合は、決して低くないので注意が必要です（昨年度、4年次留年約17%）。なお、進級条件の修得単位数を目指すのではなく修得単位数は、1年次40単位、2年次40単位、3年次30～40単位が目標となります。

2. 基礎科目の支援

習熟度別科目の設置をはじめ、基礎教育支援センターでは、授業以外での学習支援（英語・数学・物理・化学）の場を設け、学生個々の能力に応じた基礎科目の修得をサポートしています。

3. 教員免許（平成 27 年度生）

取得できる教員免許の種類と取得できる学科は次のとおりです。

工業（高免）＊	自動車システム開発工学科
工業（高免）＆技術（中免）＊＊	ロボット・メカトロニクス学科
工業（高免）＆数学（高・中免） ＆技術（中免）	機械工学科、電気電子情報工学科
工業（高免）＆理科（高・中免）	応用化学科、応用バイオ科学科
工業（高免）＆情報（高免）	情報工学科、情報ネットワーク・コミュニケーション学科、情報メディア学科
工業（高免）＆技術（中免）	ホームエレクトロニクス開発学科
栄養教諭一種	栄養生命科学科

＊高免：高等学校教諭一種免許状 ＊＊中免：中学校教諭一種免許状

4. 単位認定制度及び単位互換協定並びに資格取得支援

英検、TOEIC、TOEFL、基本情報技術者等の合格者（スコア）により単位認定を行うと同時に、受験料相当額を補助しています。また、放送大学との単位互換協定を締結し、幅広く学習できる環境を提供しています。

なお、本学は各種資格講座を神奈川工科大企画に委託し、資格取得のサポートをしています。

5. 成績表の保証人（ご父母）送付

成績は9月と3月に保証人（ご父母）へも送付しております。また、前期末成績表は後期ガイダンス時（9月）にクラス担任から学生本人へ配付し、指導いたしました。

6. 前期末成績表及び学業成績表の見方

前期末成績表は、成績欄、出欠調査欄、単位集計欄に区分されています。特に、出欠調査欄の欠席には注意を払う必要があり、欠席率が20%を超えると危険信号となります。学業成績表（原簿）は、現時点までの成績履歴欄と単位集計欄に区分されています。双方とも、欄外には、卒業研究着手科目の不足数とGPAが表示されています。

7. 27年度前期までの修得単位の平均（昨年度の同年次修了者平均）

1年次前期まで：20単位（昨年度1年次修了者平均：41単位）

2年次前期まで：59単位（昨年度2年次修了者平均：77単位）

3年次前期まで：102単位（昨年度3年次修了者平均：115単位）

4年次前期まで：117単位（昨年度4年次修了者平均：125単位）

※ 前期までの修得単位には、通年科目が含まれていません。

就職関係

1. 就職状況報告

卒業生数に対する進路決定率（就職者+進学者）は、平成24年度85.7%で厳しい状況でしたが、平成25年度は87.7%、平成26年度は91.0%に上向きました。今年度は前年度より好調に推移し、今年度末には90%以上の進路決定率になる見込みです。

2. 大学が取り組む就職支援

本学では正課授業として体系的なキャリア教育を行い、さらに教育連携しながら課外講座として全学年を通して「キャリア就職支援講座」を開講しています。また、就職支援体

制として全学的に卒業研究指導教員、学科就職担当教員（各学科2名程度）、キャリアアドバイザー、キャリア就職職員を配置し、万全の態勢を整えています。最も特徴的な就職支援として学内合同企業説明会があります。毎年本学から積極的に採用したいという参加企業が年間1,222社におよび、昨年度は全内定者の49.4%が学内合同企業説明会参加企業へ就職を決めています。

3. 保証人の皆様へご理解いただきたいこと

(1) 就職活動の今と昔

大多数の企業が推薦制度から自由応募に切り替え、企業ホームページや就職情報サイトからエントリーすることが主流となりました。反面、採用試験が複雑多岐にわたり、学生の負担が多くなり、そこで躓く学生も多く見受けられます。

(2) 就職活動でうまくいかないタイプ

大きく分けて3つのタイプがあります。①誰とも相談をしないタイプ（非相談型）、②職業意識が希薄で動かないタイプ（不活発型）、③就職情報サイトのみを情報源として活動するタイプ（Web Only型）、さらに、それらが重複する学生においては容易ではありません。その点は是非ご家族も注視していただきたいと思います。

(3) 就職活動中の親の関わり方

最も大事なことは、学生自身が「働きたい」と思うことです。それには普段からのコミュニケーションと就職に関するアドバイス、学生と同じ方向を目指した就職の情報収集です。なお、安易に卒業後に就職活動を延ばさせることは非常に危険です。卒業後の就職活動は在学時と比にならないほど厳しい現実がありますので、ご理解をお願いいたします。

(4) 就職活動スケジュール

現4年生の就職活動スケジュールは、3月から会社説明会開始、8月から選考開始となりました。しかし、採用に積極的な企業は短期（1日又は2日）インターンシップと称して、仕事理解に絡めて会社説明会を今秋から開催する企業も増えています。学生にとって大事なことは、就職活動の基本となる自己分析や業界・職種研究を早めに終え、具体的に志望企業を絞り、企業ホームページの採用情報を注視する必要があります。いつでもスタンバイできる準備が不可欠になります。今後大学では最新情報と対策等を適時行っていきます。



水戸会場



水戸会場

～本年度の父母説明会で寄せられたご意見・ご感想～

(春：本学会場)

- 大学の設備がきれいで驚きました。ネットでも授業（実験）が楽しくて、引き込まれると多数寄せられていたので、納得できました。丁寧な説明で良かったと思います。
- 朝食抜きの学生が多いとのこと。学食で朝食のサポート、父母会（後援会）支援などで、取り組めればと思います。
- この大学の得意な物、自慢できるもの、学生がこの大学に入ったことで夢や希望、挑戦できるものを紹介してほしい。各学部の研究成果やこの大学が社会に貢献したこと、スポーツなどで有名になったことなど。
- ゆっくりわかりやすく話してくださったので、内容がよくわかり安心しました。細かい字もあったので、字をもう少し大きくして下さると助かります。

(春：地区別会場)

- 何をやったらどうしたらいいか、動けない子供が多い。その点を積極的に動ける学生を育てる事をお願いしたい。
- マンモス大学とは異なった家庭的な感じがしました。本説明会で受けた説明を参考に本人とのコミュニケーションをより充実させていきたいと思います。
- 遠方でもあり、大学生活についてなかなか知る機会も少なかったのですが、少人数の会でもあり、かなり濃い情報を頂けました。親としての心構えも今までよりできたと思いますので、非常にありがたい有意義な時間となりました。

(秋：本学会場)

- 個別相談で質問した時にとっても丁寧に答えてくれて親として疑問になっていたことが解決出来て良かったです。
- 成績表の見方・ポイントを説明頂けて良かった。GPAの意味と重要性が理解出来た。
- 教務関係でなかなか単位修得が難しい学生へのフォローがきちんとされると、行動になかなか移せない学生にとっては、留年や退学を防ぐことになると思います。本人の気持ちが前向きになれるような働きかけを今後とも工夫されご指導願います。
- 日頃直接お話しができない先生方と面談できたことは大変有意義でした。就職サポートも早くから知っておけば子供への対応も密に出来るので、とてもよいと思います。大学を身近に感じ真剣に取り組むことで子供たちが社会へ自信を持って出られるよう、再度コミュニケーションを良くして行きたいと思います。

この他に父母説明会の運営面や資料、説明の仕方、保護者ポータルサイトなどについて貴重なご意見、ご感想を賜っております。次年度の父母説明会ならびに学生支援の充実に向けて、ご父母の皆様からのご要望、ご意見を活かしていきたいと考えております。

～平成 27 年度の父母説明会を振り返って～

平成 10 年度から始まりました父母懇談会（説明会）も今年で 17 年目を迎えました。一昨年度から、もっと早くに説明を聞いておきたかったとの父母懇談会ご参加の皆様方のお声と、大学の学修の基本的な仕組みをご父母の皆様方に早期にお伝えし、ご家庭との協同の学生支援をより一層充実させて行って参りたいとの私どもの考えを反映させて、5 月に父母説明会（「新入生父母説明会」・「地区別父母説明会」）を開催しております。本年度は 5 月 9 日開催の「新入生父母説明会」（本学会場）、地区別父母説明会（静岡会場）を皮切りに、5 月 16 日に青森、山形、長岡、長野、福岡、17 日に仙台、郡山、宇都宮、高崎、宮崎、23 日に甲府、及び 24 日に水戸で地区別父母説明会を開催いたしました。

9 月はこれまで通り成績や就職に関する個別のご相談を中心とした父母説明会本学会場・個別相談会を開催し、春、秋合わせて 921 組、1,374 名のご父母の皆様にご参加いただきました。改めて厚く御礼申し上げます。

本年度は、本学会場で行われました全体会の説明の要旨と各会場でアンケートにてお寄せいただいたご父母の皆様のご質問、ご感想等を纏めて後援会のホームページ上に公開させていただきました。特に、ご指摘ご要望につきましては、私どもは真摯に受け止め、毎年度の父母説明会の改善、ご父母の皆様との連携を深めることにつなげて参りたいと存じます。この報告書をお読みくださり、ご父母の皆様が本学の教育方針、教育活動をご理解くださる一助となれば幸甚に存じます。

なお、ご父母の皆様がお寄せくださいましたご感想等につきましては、すべて掲載することが難しく、多くのご感想等を割愛させていただきました。お詫び申し上げますとともにご理解の程、お願いいたします。

学生担当部長 鈴木 隆



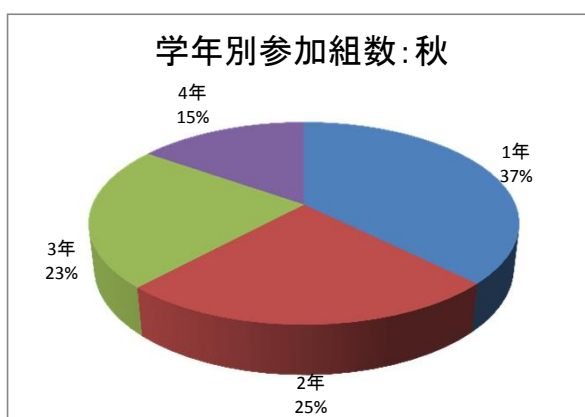
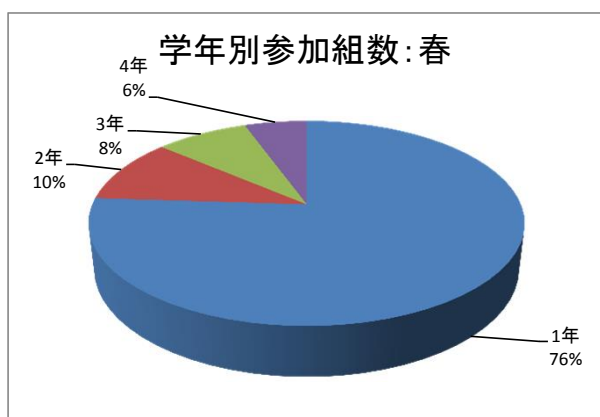
2015年度 新入生父母説明会・地区別父母説明会
各会場参加者数・アンケート結果について

開催場所	開催日	参加者数	組数	学科別 参加組数												学年別 参加組数				
				工学部				情報学部			創造工学部			応用バイオ科学部		看護学部	1年	2年	3年	4年
				M	E	C	A	I	N	D	V	R	H	B	L	U				
本学	5月9日	457	299	27	27	17	10	38	23	49	15	15	13	35	20	10	261	20	13	5
静岡市		69	54	7	4	6	0	4	2	10	4	3	2	5	7	0	33	6	5	10
青森市	5月16日	12	9	2	0	0	0	1	0	4	0	0	0	2	0	0	4	1	3	1
山形市		19	11	0	0	0	0	3	1	2	0	0	1	2	1	1	6	2	2	1
長岡市		23	16	0	1	0	0	3	0	3	1	3	0	4	1	0	11	3	2	0
長野市		34	22	3	0	1	0	6	0	5	0	0	1	6	0	0	8	5	7	2
福岡市		7	6	1	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	1	0	3	1	1	1
仙台市		11	8	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	2	0	2	8	0	0	0
郡山市	5月17日	18	13	0	2	0	1	4	1	0	0	2	1	2	0	0	8	4	1	0
宇都宮市		7	5	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	2	0
高崎市		23	17	3	1	0	1	1	2	5	0	0	0	3	0	1	7	4	2	4
宮崎市		6	4	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	2	1	0	1
甲府市	5月23日	9	7	0	1	1	0	0	1	2	0	0	1	1	0	0	5	0	0	2
水戸市	5月24日	24	17	3	0	1	0	2	1	5	0	0	0	1	3	1	13	2	2	0
合計		719	488	49	37	26	12	64	33	89	23	24	19	64	33	15	371	50	40	27
父母説明会・個別相談(本学)	9月19日	655	433	48	31	33	5	56	41	62	24	22	29	48	22	12	162	106	99	66

注) 学科表記は次のとおりです。

- ・工学部 M: 機械工学科 E: 電気電子情報工学科 C: 応用化学科 A: 臨床工学科
- ・情報学部 I: 情報工学科 N: 情報ネットワーク・コミュニケーション学科 D: 情報メディア学科
- ・創造工学部 V: 自動車システム開発工学科 R: ロボット・マイクロニクス学科 H: ホームエレクトロニクス開発学科
- ・応用バイオ科学部 B: 応用バイオ科学科 L: 栄養生命科学科
- ・看護学部 U: 看護学科

* グラフの % は 小数点第1位を4捨5入しています。

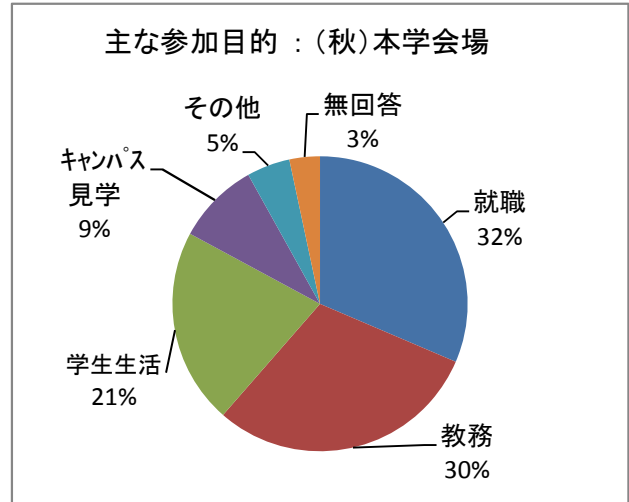
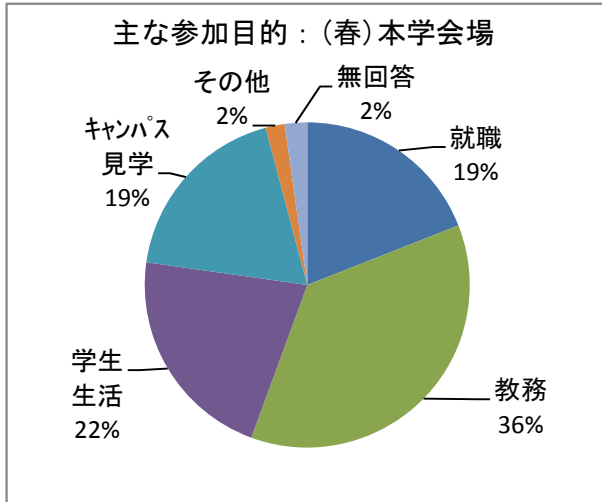


2015年度父母説明会アンケートの結果

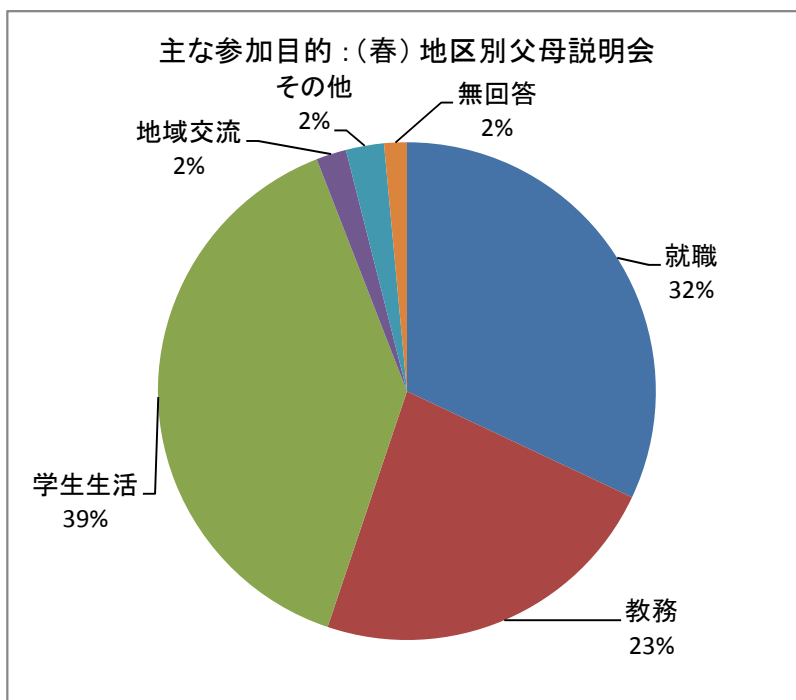
回収率 春:87.3%(426組)

秋:44.1%(191組)

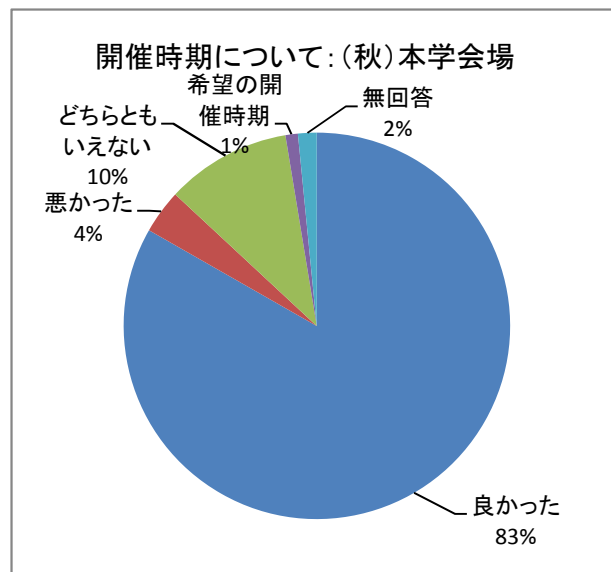
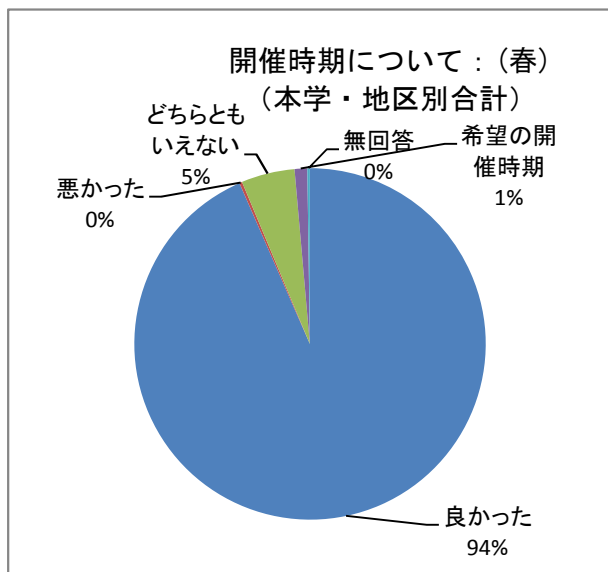
主な参加目的 (本学)							
		就職	教務	学生生活	キャンパス 見学	その他	無回答
	春	51	98	58	50	5	6
秋	66	62	45	19	10	7	



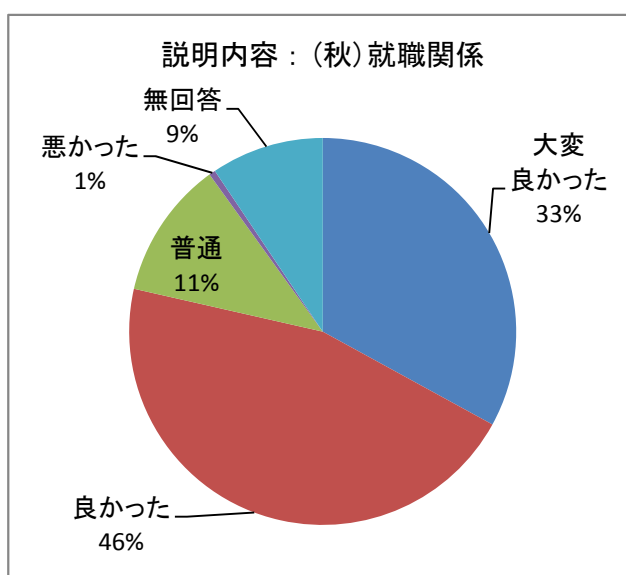
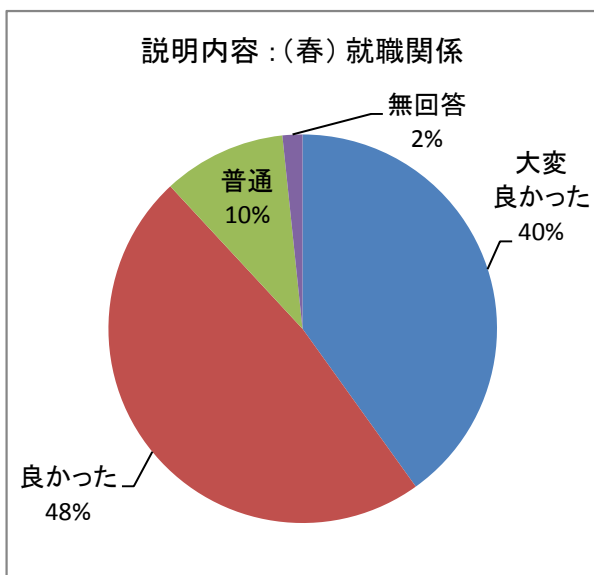
主な参加目的 (地区別)							
		就職	教務	学生生活	地域交流	その他	無回答
	春	65	47	79	4	5	3



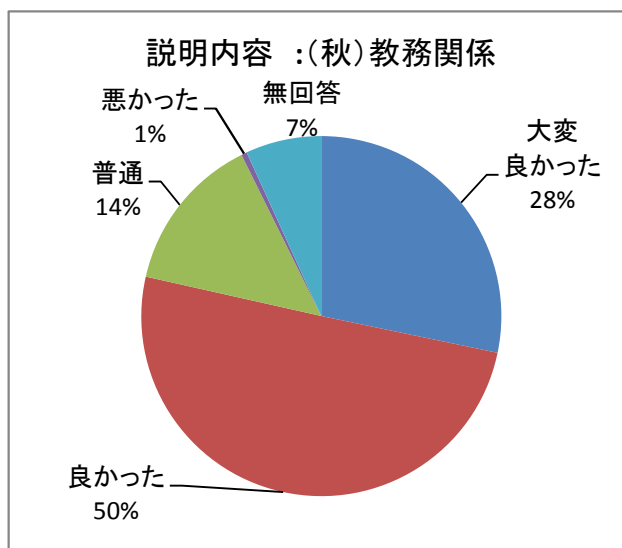
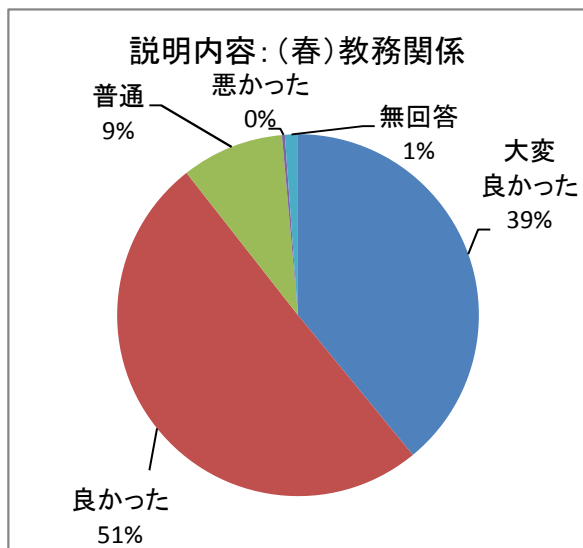
開催時期について		良かった	悪かった	どちらとも いえない	希望の開 催時期	無回答
		春(本学 ・地区別合計)	398	1	21	5
	秋(本学)	159	7	20	2	3



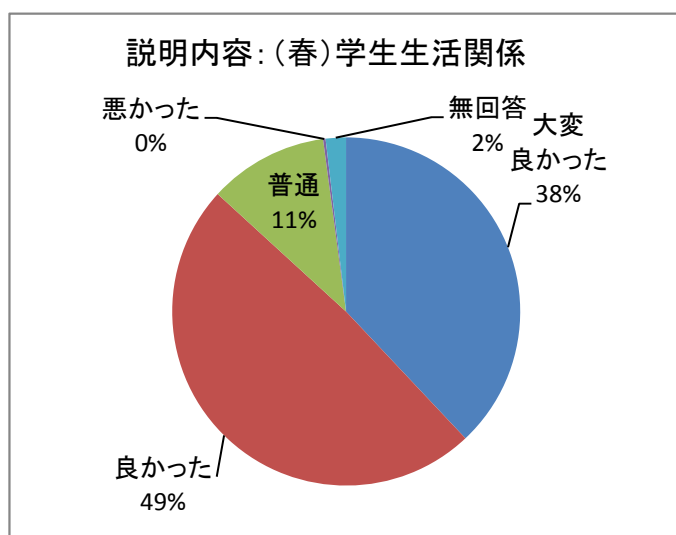
説明内容について (就職関係)		大変 良かった	良かった	普通	悪かった	大変 悪かった	無回答
		春(合計)	168	201	43	0	0
	秋(本学)	63	87	22	1	0	18



説明内容について (教務関係)		大変良かった	良かった	普通	悪かった	大変悪かった	無回答	
		春(合計)	166	214	39	1	0	5
		秋(本学)	54	96	27	1	0	13



説明内容について (学生生活関係)		大変良かった	良かった	普通	悪かった	大変悪かった	無回答
		春(合計)	161	207	47	1	0



* 秋の父母説明会・個別相談(本学)では、<学生生活の説明>の時間は特に設けてありませんでした。
アンケート項目に誤って記載されておりましたが、集計から割愛させて頂きました。ご記入頂いた方には大変申し訳ありませんが、ご了承下さい。

神奈川工科大学 学生支援本部 学生課
神奈川県厚木市下荻野1030
TEL:046-241-9394 E-mail:gakusei@kait.jp